

2025

隣保館だより

1月号



NO. 374

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

TEL.0289-64-4776



あけましておめでとうございます。

旧年中は隣保館事業にご協力、ご参加いただき

感謝申し上げます。本年もよろしく願いたします。

2025年の干支は「巳」

今年の干支は、十干と十二支を組み合わせたものなので、2025年の干支は「乙巳」(きのとみ)です。「巳」(み、し)という字は、胎児の形とした象形文字で、蛇が冬眠から目覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があります。

巳年は、これまで努力してきたことが実を結び始める年だと言われます。蛇というと日本人だと気味が悪い動物ですが、昔は縁起が良い動物になっていました。神聖なる蛇は弁財天の遣いとして、金運財運の象徴となっています。また、蛇は脱皮をすることから、「復活や再生」を連想させ、新たな挑戦や変化に前向きになるとされています。

巳年のこの年、新たな人との出会いやかかわりを増やしていき、お互いの違いを認め合いながら人権を尊重し、生きやすい社会を目指して成長して行きましょう。皆様のこの1年が幸せなものになりますように。

「ときめき鹿沼2024～人権・男女共同参画のつどい～」参加者募集!

とき 2月22日(土)午後1時～3時45分

ところ かぬまケーブルテレビホール(市民文化センター)小ホール
内容

- ①令和6年度人権啓発標語表彰式
- ②講演会「もっとやさしく、もっと自由に ～共に生きる社会をめざして～」 講師 香山リカさん(精神科医、総合診療医)
- ③男女共同参画クイズ

定員 300名(先着順)

参加料 無料

申込 2月14日(金)までに、
申し込みフォームまたは電話で。
人権・男女共同参画課人権推進係
TEL (63) 8351



ときめき鹿沼2024
～人権・男女共同参画のつどい～

参加無料
※申込

要約筆記・手話通訳・一時保育あり

もっとやさしく、
もっと自由に
～共に生きる社会をめざして～

講師: 香山リカ氏
(精神科医、総合診療医)

令和7年
日時 2月22日(土)
13:00～15:45(開場12:30)

会場 かぬまケーブルテレビホール
(鹿沼市民文化センター) 小ホール
鹿沼市坂田山2丁目170

定員 どなたでも 300名(先着順)

申込 2月14日(金)までに
申込フォームまたは電話
※一時保育は2月12日(水)まで

お申込み・お問合せ
鹿沼市 人権・男女共同参画課
TEL : 0289-63-8351
E-mail : jinken@city.kanuma.lg.jp

主催: 鹿沼市人権啓発推進市民会議
鹿沼市男女共同参画社会づくり実行委員会
鹿沼市・鹿沼市教育委員会
後援: 宇都宮市人権推進委員会協議会鹿沼部会

人権擁護委員による啓発活動を実施

宇都宮人権擁護委員鹿沼部会委員 13 名が、人権への理解を深めてもらうために、11月24日（日）、栗野コミュニティセンターで開催された「ふる里あわの秋まつり」に出向き、啓発チラシやノベルティを配布しました。

法務省の人権イメージキャラクター「人KEN まもる君」と「人KEN あゆみちゃん」も駆けつけ、来場者と楽しく交流しました。



第 11 回ふれあい事業開催



12月12日（木）午前10時より、高齢者ふれあい事業を行い25名と多くの参加者がありました。

今回は、介護保険制度「介護になったら・・・どうしよう」について学びました。講師の市介護保険課の鈴木さんが、市発行「介護保険、わかりやすい利用の手引き」の冊子をもとに説明。参加者の皆さんは、介護保険のしくみ・サービス利用の流れ・サービス（居宅サービス）の種類と費用の目安などについて、熱心に耳を傾けていました。

質疑応答では、身近な問題として多くの質問が寄せられ、直接担当職員と話すことで、健康予防の取組や健康寿命などを考える有意義な研修になりました。